

【北名古屋市の流域治水対策】



- 北名古屋市は、市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「**健康快適都市**」誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちをめざす。
- 具体的な施策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、**幹線排水路や貯留施設排水ポンプ場の整備**を実施していく。

I - ① 幹線排水路の改修 II - ① 雨水貯留施設の整備



対策イメージ
(雨水貯留設)

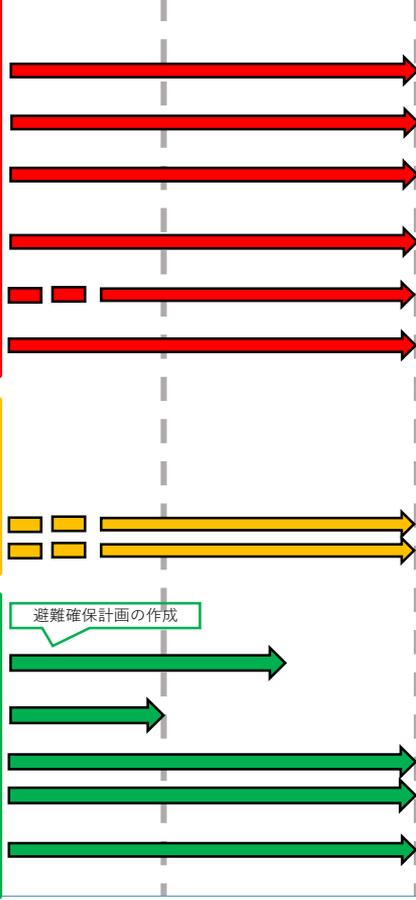
対策メニュー

- 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】**
- 流出抑制対策
 - ・ 貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備)
 - ・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導)
 - ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援)
 - 内水被害軽減対策
 - ・ 雨水排水網の新設・増強 (幹線排水路の改修)
 - ・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備)
 - ・ 効率的なポンプ運転調整ルールの検討

- 【被害対象を減少させるための対策】**
- 頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・ 立地適正化計画への防災指針の位置付け
 - ・ 水害リスクを考慮した居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導)

- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】**
- 被害軽減対策
 - ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ ハザードマップの更新
 - 住民の主体的行動を促す取組
 - ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知
 - ・ わかりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
 - ・ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

短期 中・長期



避難確保計画の作成